

演習

歎異抄 (三・四回生)

佐藤講師

歎異抄 (三・四回生)

細川教授

歎異抄 (三・四回生)

幡谷教授

歎異抄 (三・四回生)

臼井教授

歎異抄 (三・四回生)

小野教授

歎異抄 (四回生)

神戸教授

歎異抄 (四回生)

廣瀬教授

歎異抄 (三回生)

寺川教授

歎異抄 (三回生)

江上助教授

歎異抄 (三回生)

安富助教授

編集後記

親鸞ほど、この世を生きる自らの問題として真実を問い続けた人はないのではなからうか。

仏教の学びは単なる知識の習得ではなく成って知るものである、とはよく耳にしてきた言葉である。しかし自我を破るはたらしきをもつ言葉に遇いながら、いよいよ自我を固めることになっているのが

我々の現実である。学んでいるつもりという自己正当化ほど、学びを妨げるものはない。多くのことを知ったという驕慢な心によって、真実の利益を求め続ける意欲は減退し、名聞・利養・勝他の思いが増長するからである。そこでいくらか真実を標榜しようとも、それが人に生きる勇気を与えるはずはない。結果として、人を言いおどろかし、迷わすことにならぬ。

このような理屈として標榜される真実から訣別するところに、親鸞の真実に対する問いはある。しかし教言をも自己主張に利用しようとする我々の自力心の根は深い。親鸞が「愚禿釈」と名告り、「仰せをかぶりて信ず」と述懐するような原点を持たねば、どれだけ時間をかけようとも学びの質は転回し得ない。これはいかに至難であっても止めるわけにはいかない、我々自身の課題である。

* * *
西元宗助先生には、御多忙中にもかかわらず、金子大榮先生十三回忌法要の記念講演に御加筆いただきました。ここに厚く御礼申し上げます。(一楽)

1989年7月15日 印刷
1989年7月20日 発行

親鸞教学 第54号 定価 927円 (本体 900円)

京都市北区小山上総町22
大谷大学真宗学会
親鸞教学編集部
発行人 廣瀬 泉
大谷大学真宗学会 振替 京都 6-8225番

京都市中京区寺町通三条上ル
文栄堂書店
振替 京都 8-2948番

京都市下京区七条御所ノ内中町50
中村印刷株式会社
電話 (313) - 0468番

編集 発行 発売 印刷